

サポセン mail No.189. 2019.6.1 発行

〈発行元〉 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区誉田町2-21-684-101 TEL&FAX 043-377-8490
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konnjiki.jp/

昭和の森は生き物の宝庫！

今回は昭和の森の自然観察会に参加させていただきました。いつもは大人の参加者が多いのですが、「春の生き物を探そう！」という内容だったのでサポートセンター以外の家族の参加者も多く、あそび塾からも5名の家族参加がありました。



子どもたちが一番興味を示していたのは「ニホンアカガエル」の卵やおたまじゃくしを見せてもらった時でした。事前にニホンアカガエルの卵の塊とおたまじゃくしを容器に入れて、子どもたちが見やすいように準備をさせていただいていたのでどの子もすぐ近くで見ることができました。田んぼの中にはこの卵の塊が200程あるそうです。でもこの塊の卵の中でカエルになれるのはせいぜい1匹くらいで、ほとんどが鳥や他の生物に食べられてしまうそうです。

れいちゃんは指導の先生の話を一言も漏らさないほどしっかりとメモしていました。



ニホンアカガエルの産卵が早いのは他の生き物が冬眠しているうちに産卵をして、できるだけ卵を食べられないようにするためであることを生き物博士のような少年が教えてくれました。また、ニホンアカガエルはコンクリートを登れないため、田んぼ周辺の整備がすすんだ所では絶滅状態であることも先生に教えてもらいました。昭和の森のこの田んぼは本当に貴重な生き物の宝庫であることを再確認しました。



話を聞いた後、子どもたちは田んぼのあぜ道に下り、卵やおたまじゃくしを見つけて歓声を上げていました。

(4面*へ続く)



秘密道具は芝原さんの手だよ！

4月14日誉田公民館で15名の子どもたちと「そば打ち体験」をしました。講師の先生は大椎町にお住いの芝原賢二さんです。



芝原さんは本当のそば職人のいでたちで、お手伝いのお母さん方から「お蕎麦屋さんをしていらしたのですか？」と聞かれるほどでしたが、芝原さんは「いえいえ、趣味でやっているですよ。」とのお返事でした。それでも、全国そば打ち同好会の二段の腕前でとても趣味でやっているという感じではありませんでした。

そば打ちの道具もほとんど芝原さんが5グループ分の道具を準備してくださいました。初めに芝原さんがお手本を見せてくれました。小麦粉が200gそば粉800gをふるい、混ぜ合わせます。「二八蕎麦って、聞いたことある？小麦粉2にそば粉8の割合のお蕎麦が二八蕎麦って言うんだよ。」と話してくれました。



いろいろな匂いがしてくるよ！

1キロの小麦粉とそば粉の中に500ccの水を少しずつ回し入れて混ぜ合わせます。芝原さんの周りを子どもたちが囲み、身を乗り出して見つめます。

「大豆の匂いがするよ！」「きな粉の砂糖を入れる前みたいな匂いだ！」

少しずつ水が馴染んできますが、まだパン粉みたいな感じです。「パン粉の匂いじゃないの。」



「ちがうよ！ナッツの匂いだよ！」「エンドウ豆の臭いだよ」「食べたことのない匂いだよ！」

それぞれ感じたことを次々と言っていました。

ぱさぱさだったそば粉がだんだんコロコロになってきます。「ソラマメの匂いになってきた。」

次第にそば粉がひとつにまとまってきました。

「あんなサラサラだったのに、でっかいジャガイモみたいになった。」「なんか秘密道具があるみたい。」

「秘密道具はあの手だよ！」子どもの発想は素敵ですね。「菊の花みたいになったよ。」「肉まんみたいだよ！」いつの間にかサラサラだった粉がしっとりした、滑らかな一つのかたまりになっていました。



のし棒をくるくると回しているうちに、いつの間にか蕎麦のかたまりはうす〜い綺麗な1枚の四角い紙のようになっていました。

「ホットケーキになっちゃたよ!」「今度はピザになったよ!」「巻物だよ。」



本格的な蕎麦包丁をお持ちいただいて、まるでそうめんみたいに細いお蕎麦ができました。

いよいよ自分達でそば作り!

いよいよ今度は自分達でそば作りです。みさきちゃんは低学年のさきちゃん・かのんちゃんと一緒に班でしたが、二人がやりやすいように手を添えたり、大変な所は自分がやったりしっかり二人をサポートしていました。

子どもたちにとってはそば粉をこねるのは、かなりの重労働ですがみんな楽しそうに頑張っていました。



芝原さんに何度も固さを確認しながら固まりを捏ね、棒で薄く伸ばしてそばを切っていました。しかし子どもたちにとってそばを細く切るのは至難の業です。一生懸命丁寧に切



っていきませんが、どうしてもうどん位の太さになってしまいます。1グループずつ大鍋で茹でてみんないただきました。面が太いためかなりずっしりとお腹に溜まります。それでも自分で作ったお蕎麦はおいしかったことでしょう。芝原さんがうったお蕎麦もいただきましたがは香りがよく本当になめらかでした。
(記 安藤)



(*) 田んぼでおたまじゃくしを発見したりして楽しんだ後は、お花見広場まで階段を登り、あがっていきました。途中でどんぐりから芽が出ているのを発見しました。写真では分かりにくいかもしれませんが、生き物博士の少年が皆に見せてくれました。まだ寒い冬の3月初旬でしたが、森の生き物はしっかり春の準備を始めているのですね。



「安藤さん見て見て!」「写真撮って!」りこちゃんが走り寄ってきたときは、初め意味がわかりませんでした。トレナーについているのは服の模様ではなく昭和の森の野草でした。大人ではとても思いつかない発想ですね。本当に素敵なアイデアですね。昭和の森の大切な生き物たちの生命力と子どもの素敵な発想に出会えた楽しい時間でした。(記 安藤)

2019年通常総会があります

日 時 : 2019年6月9日(日) 10:30~12:00

場 所 : 緑区子どもサポートセンター事務所

昨年7月に引っ越しをした新しい事務所です。気軽にお立ち寄りください。

